



令和2年2月21日

(会派名) 市民グループ未来の会  
(会派代表者) 前川 昌也 殿

(会派名) 市民グループ未来の会  
(氏名) 若谷 修治

### 研究会・研修会等参加報告書

下記のとおり実施したので報告します。

1. 会議の名称 第7回子どものネット利用問題に関する全国研修会
2. 会議の日時 令和2年 2月 9日(日曜日)  
9時00分 ~16時30分
3. 会議の場所 こうち男女共同参画センター「ソール」
4. 出張の期間 令和 2年 2月 9日(日曜日)
5. 参加議員名 若谷 修治

#### 6. 会議の概要

まず、主催者を代表して山中千枝子氏が挨拶した。その後、「メディアにむしばまれる子どもたち～不登校・ひきこもり・ネット(ゲーム・スマホ)依存・おとなになれない問題の背景にあるもの～」と題し元小児科医田澤雄作氏の講演があった。小学校入学よりも前からネット(ゲーム)で遊んでいる子どもが6.0%という時代。この時期から一日4時間以上映像メディアと接触している子どもは、中学生になると約四分の一が年齢相応の発達・成長ができていない問題を抱える可能性を持つ。低年齢からの映像メディアとの過剰な接触は、その分だけ現実的体験を削ぎ落とし、大人になれない問題を引き起こす危険度を高くする。私たち大人は何をすべきか。子どもたちは私たち大人のまねをしているだけ。私たち大人がすべきことの第一は、自分たち自身の生活習慣を是正し、子どもにモデルを示すこと。子どもは、大人が夢中になっている電子メディアが気になり、自分も「見たい、触りたい」と思うのは当然である。子どもが電子メディアを上手に扱うのを見て、親が「我が子には特別の才能がある」と誤解して喜ぶのは「人間モデル」失格の姿。本当に大切なことは、人間としての思いやりを学び、子どもたちに伝えることである。とお話いただきました。

午後からの全国ネット会議では、各地での取り組み紹介ということで、ののいちっ子を育てる市民会議事務局長北川千里氏から毎月第1水曜日「NOネットNOゲームNOテレビ一番大切家族ふれあいの日」やスマホ・ゲーム機タブレット家族置き場所の取り組みを発表。次に、さぬきっ子安全安心ネット指導員小林康則指導員より、香川県内でのネット啓発学習会の状況や香川県ネット・ゲーム依存症対策条例化について発表。最後に、全日本青少年育成アドバイザー連合会会長峠テル子氏より大学生と一緒に大型紙芝居を制作し、それを活用したネット啓発活動について発表があった。その後、今後の活動について討議し、親子の遊び塾（デジタルダイエットキャンプ）を開催する。作物など育てる世話をする習慣と付ける。幼・保・小・中・高一貫した取り組みを行う。保健師による乳幼児健診などでの早期啓発活動を行う。ネット・ゲーム依存症の相談窓口のワンストップ化などが提案された。

今後も情報交換・共有を行いながら、本市でも取り組めることを実践させたいと感じた。

※ 会議の資料等を添付して下さい。